

おー!! 柏陽

北海道北見柏陽高等学校同窓会
かしわ会東京支部2016年度総会
発行日 2016年8月20日
発行者 北海道北見柏陽高等学校同窓会 東京支部
椎名孝典
神奈川県相模原市中央区並木3-12-13

同窓会会長、柏陽校長を迎えて

二〇一五年度総会・懇親会盛大に開かれる

2015年10月18日
レストラン
ペーペー

北見ふるさと会

親睦ボウリング大会に参加して(続編)

昨年、我が「かしわ会」が優勝の栄冠を勝ち取った恒例の「北見ふるさと会親睦ボウリング大会」が今年も田町ボートボウルで開かれまし
た。残念ながらかしわ会チームは連覇を逃しましたが、返還した優勝旗を次回は奪還したいものです。
参加者130名余りで貸し切りの盛大さ、参加賞・賞品・景品等の多さに驚かされ、幹事役の東京北見会のほか東京常呂会、東京留辺蘂会、在京端野会など、特に旧北見市以外



並木恵美子プロとかしわチーム

みなさん、次回には参加されたいかがでしょうか?
(高島)

2015年度総会・懇親会は、本部から舩川誠会長、釜澤達也副会長、秋山裕晴事務局長と柏陽OBでもある塩見裕史校長をお迎えして開会しました。四十物支部長、舩川会長の挨拶に続いて、事業・会計報告があり、満場一致で承認されました。
また、新役員も紹介され、承認されました。懇親会では塩見校長のスライドを使った「最近の柏陽高校生」の説明により、在校生の様子を知ることができました。その後、歌の競演、お楽しみ抽選会などが続き、第二応援歌の合唱で中締め、再会を約束して散会し
当支部は今期から四十物前支部長を引き

離いた椎名新支部長の下、第18期121期中心の布陣で活動に当たることになりました。
先輩諸氏の協力をお願いしながら、若い人々への呼びかけなど、役員一同魅力ある支部活動に努めますので、どうぞよろしくお願い致します。



スライドで説明される塩見校長

報告および承認事項

■活動報告

・総会

・役員会

■会計報告

・収入の部

91万9764円

・支出の部

75万3420円

・次期繰越金

16万6344円

■役員

支部長

副支部長

会計

会計監査

幹事長

副幹事長

■懇親会実行委員

18期 佐藤 英行

19期 広瀬 雅巳

18期 高島 正志(18期)

手塚 晴巳(18期)

角田 文志(19期)

椎名 孝典(18期)

保木元幸雄(19期)

小竹 利和(20期)

若作 敏明(20期)

古賀恵美子(21期)

飯淵 武雄(18期)

四十物治夫(15期)

小山 茂(16期)

高島 正志(18期)

手塚 晴巳(18期)

角田 文志(19期)

18期 佐藤 英行

19期 広瀬 雅巳



かしわ会東京支部の皆さん お元気ですか？

「2016 年度かしわ会東京支部総会・懇親会」の開催にあたり、学校長、同意会長ならびに札幌かしわ会会長からメーソセージが寄せられました。

当会是新名称で新たな一歩

札幌かしわ会 会長 小中真一

東京支部の皆さんお元気ですか。

札幌支部は昨年創立20周年記念総会及び懇親会を開催致しました。そして今年から「札幌かしわ会」と名称も変え新たな一歩を踏み出しました。

札幌かしわ会は毎年2,000名ほどの同意生（1期生40期）に案内をお送りして、総会・懇親会への参加を呼びかけ、うち140名ほどの参加を例年いただいております。そして当番幹事がそれぞれ趣向を凝らしたりしながら皆さん楽しくやっております。

北見への郷愁と高校時代の思い出を共通の話題として先輩後輩仲良く語り合う姿はいつ見ても良いものです。そして今後若手への継承をテーマに新しい期にも輪を広げておりますので、東京支部の皆さんにも一協力よろしくお願いいたします。

尚、今年の総会・懇親会は、10月20日（木）

センチュリーロイヤルホテルにて18時からの予定となっておりますので、札幌にお越しの方はご参加下さい。

尚、今年の総会・懇親会は、10月20日（木）センチュリーロイヤルホテルにて18時からの予定となっておりますので、札幌にお越しの方はご参加下さい。



かしわ会東京支部総会に寄せて

北海道北見柏陽高等学校同意会 会長 井川 誠

かしわ会東京支部の皆様「無沙汰しております。昨年にもまた本拠地・北見の総会にも負けない。母校・柏陽高校への想いのこもった楽しく懐かしい時間を過ごすことができました。東京支部会員の皆様に感謝と御礼を申し上げます。

さて、今回の「おー!!柏陽」より写真やイラストなどを織り交ぜての寄稿をこのリクエストでありましたので、写真を1枚：



枚：

なんと多くの面影で何処だかお分かりになりましたでしょうか。そう手前が「小公園」で、その奥が北見市役所庁舎跡、建物は「北見赤十字病院」の新本館です。小公園も人間の頭にたとえればボサボサ頭がさっぱりした散髪後の頭になつてしまった感じ

です。

ぼんちまつりでは「市民の夕べ」の会場であつたり、それぞれに思い出

が、7月上旬、北見の繁華街で四十物市前支部長とはつたり遭遇、皆さんも余り北見の姿が変わらないうちに是非お越し下さい。歓迎致します。東京支部会員の皆様のご健勝と今年度の支部総会の御盛会を「祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

いざすすまんかな行手はほろけし

北海道北見柏陽高等学校 校長 白鳥 真次

「堀見裕史（第29代）校長先生」勇退の後、この4月に美瑛高校から着任いたしました白鳥真次と申します。

北海道内でも有数の伝統校である北見柏陽高校に着任し、その責任の重さに身が引き締まる思いで毎日を送っております。前向きで礼儀正しい在校生に、諸先輩の皆さんが築いてきた北見柏陽高校の伝統と校風を感じております。

第67回を迎えた今年度の柏陽祭は、7月4日から6日までの3日間「安心してください。輝いてますよ。今年の祭りは、やっぱりぞい」のテーマで行われました。

その中の、行灯パレード行列は55回目となりました。幹線道路国道39号を1時間半にわたり規制しながら高校と北見駅前を往復しましたが、多くの市民の皆さんが道に押し寄せ大きな声援をかけて頂きながらの行進でした。あらためて北見柏陽高校の伝統の重さを感じるものでした。

また、今年の高体連では、14種目で北見支部大会を勝ち抜き、全道大会に進出。更に、陸上・水泳が全国大会に駒を進めました。在校生は「文武両道」の北見柏陽高校の伝統をしっかり受け継いでおります。

これからも礼儀正しく人間性豊かで、社会に貢献できる人材の育成に努めてまいります。

今後とも、諸先輩の皆さんからの応援よろしくお願いいたします。



ふるさと便り 置戸

置戸町の井上久雄町長（16期生）より昨年、節目の百周年を迎えた同町について先人の苦勞をしのび、町の将来に向けた課題などについてメッセージを寄せていただきました。ここに紹介します。

たかが百年されど百年

置戸町長 井上久雄

置戸町は大正4年に北見市から分村して昨年、節目の百周年を迎えました。町の100年を語るとき、大先輩の話や記録写真をみても未開の大原生林の開墾が如何に大変なものであったか、まさに「筆舌に尽くし難い」様が伺われます。

私たちは、その時代をその時々を一生懸命生きてきた人たちの頑張りを真摯に伝えていく責任があるように思います。

私は、町の広報誌に「町長日誌」を6年近く掲載しました。月に一度でしたが、出張先のホテルからファックスで原稿を送ることもありました。町長に就任して16年、この間町民や私にとっても様々な、そして重要な出来事があったように思います。10年も前の日誌ですが、当時の私の思いを書いたものですが掲載させていただきました。

「大人が生き生きとしなければ」(2004年8月8日掲載)

我が国は、世界でも最も少子化が進んだ国になりました。(中略) この状況が今後も続きますと、今世紀末には日本の人口は半減すると予測されています。子どもを何人持つかは個人の選択の問題だという考えもありますが、この状況は、個人の選択を超えた国家的な危機と考えるべきだと思います。少子化対策としての子育て支援が実を結ぶには、今の大人が生き生きとした姿を若者に見せることも大切だと思います。

置戸町の人口も10年後には現在の8割と予測していますが、子どもの減少率はそれをはるかに上回ることが予想されます。町としても大きな課題ですが、若者が自立してたくましく育つことのできる、そんな町を目指したいものです。

今日、地方創生をはじめ人口減少の問題や少子高齢社会への対応など多くの課題を抱えています。地方鉄道とともに町が消えていくことがないように、この先150年、200年と未来永劫輝き続けることを町民とともに願い、誓った100周年の記念式典でした。

昨年7月5日に特設会場で開催した野外音楽フェスティバルに約4千人が集まりました。

人気バンドの「東京スカパラダイスオーケストラ」や「MONGOL800」など6組が出場しました。大変な盛り上がりでした。



各期の近況

16期生 大宮市のミュージアムめぐりを楽しむ

5月14日午前10時、3名のゲストを加えた総勢19名はさわやかな青空が広がる大宮駅に集合し、早速2班に分かれてニューシャトルで鉄道博物館へ移動した。入口の内と外でお互いを待つというハプニングがあったものの、先ずは、東北・山形・秋田・北陸・上越・北海道新幹線の見学スポットへ、5分弱の間隔で通り過ぎる新幹線を目のあたりにして、「大宮は新幹線網の大動脈である」ことを再確認する。SLやご料車両の展示と歴史解説はもちろん、精巧につくられた鉄道ジオラマは王巻であり、質問好きの面々もここでは、「へー」「ほー」と感心するばかりであった。

昼食後、次の目的地盆栽美術館へ向う。

大宮は知る人ぞ知る盆栽の街。盆栽とありのままの風景をうつしとることだとか。奥が深く少々難しそうだが、心静かに対峙してみれば、きっとそこには小宇宙が広がっているのだろう。



2次会・3次会の頃には参加人数も21名になり、ワイン談義にあり、シングル女子の近況報告あり、何でもありの混戦模様ではあったが、いつものように旧交を暖めあって散会となった。

団塊の世代真っただ中の16期生も来年には古希を迎える。

記念の遠足は、福岡邸（神奈川県山北町）でバーベキューパーティーの予定。同期の初参加・ゲストの参加も大歓迎。

みなさま奮ってご参加を!! (kumi)

21期生の現況

21期は2012年度に選任を迎え、大同意会を翌年の2013年に温湯の大江本家にて開催しました。100名に近い同級生が集まったとのこと。

私は台風にあつかり参加できず残念でした。

ぼちぼちみんな自分の好きな時間を使うなどの世代になっていますが、私の身近な21期生で素敵な活躍をしているかたを一部紹介します。

★寺井浩一・・・東京藝術大学の美術科に進学し、現在年に2回ペースで世界をまたにかけ個展を開催している画家です。この夏はニューヨークでの個展を開催。2012年には北見に凱旋個展を「北網園北見文化センター」で開催。彼の作品が北見市の市役所や北網文化センターに寄贈されています。

★田中稔子・・・坂東玉津沙との名取名で邦楽（長唄・三味線・舞踊）をとおして次代への伝承活動をしています。彼女も東京藝術大学を卒業しその道の専門を学んでの道でした。

東京北見会でその演奏を披露していただきました。今度はいかしわ会でも披露してもらいませんか？

文化意識の高い北見・自由な学園柏陽高校と言われる所以はこんな芸術家を輩出していることにも影響を与えているのではないのでしょうか。

(21期 古賀恵美子)

19期生 久しぶりの同期会

去る6月18日に都内で北見から駆け付けた2名を含む30名近くの出席を得て久しぶりに同期会が開催されました。

65歳、節目の年ではありますが、元気にまだフルタイムで働いている人も多く、懐かしさと共にお互いに大いに刺激を受ける機会にもなったのではないのでしょうか。

何人かの近況をご紹介します。

橋の設計を生業に現在もタンザニアやラオス等途上国のインフラ整備事業に邁進している柔道部OB。都内の高校で物理の教鞭をとる傍ら自宅から車で2時間の千葉鴨川近く求めた1,500坪に及ぶ土地（水田と山林）で休日には農作業に励んでいる今や哲人風のかつてのやり投げ選手。長年介護事業の経営に携わる一方で高齢者に軽い金銭負担で憩いの場を提供するためにNPO法人を立ち上げ、更に子供達の交流の場にも繋げて女性活躍社会の環境づくりに貢献せんとする志し高き女性。又、既に現役を引退した同期の中にも、おやじバンドを率いて時々LIVEを開き、「死ぬまでビートルズをやるぞ」と意欲あふれる剛仁君など。

このように多士済々な我等が19期生の面々もまだまだ意気軒昂です。

(19期 角田文志)

編集後記

今年の8月はオリンピックで寝不足になられた方も多かったのではないのでしょうか？

「おー!!柏陽2016」をお届けします。

この欄をお借りして、前号まで約10年の長きに亘り会報の編集に献身的に当たられた岡武様に感謝の意を表します。又、お忙しい中、原稿をお寄せいただきましたみなさま、ありがとうございました。

総会・懇親会でお会いしましょう。